

# ひばり

東国分爽風学園

市川市立稲越小学校

〒272-0831 市川市稲越 3-21-8 Tel. 373-8401

<https://ichikawa-school.ed.jp/inagoshi-sho/>

## 「時計を読む」を考える

### ～デジタル時計との違いってなんだろう～

校長 吉田 直美

私たちの生活に欠かせない時計。時刻や時間を知るために全員が活用している生活グッズです。日本は時刻や時間に正確な国民性であるとよく耳にしますね。

学校では低学年の算数科で時刻と時間の学習をします。時刻とは「何時何分」という一瞬を表すもの、時間とは「何分間、何時間」という範囲を表すものです。

時刻を知るには針時計よりデジタル時計の方が便利です。それは0～59までの数字が読めれば今の時刻はわかるからです。半面、デジタル時計で時間を知るには頭を使います。一例をあげて考えてみましょう。



例えば、午後12時50分の時に「1時35分までに終わらせてね」という指示があった時、デジタル時計の場合は時刻から時刻を引き算して何分間あるのか考える必要があります。

ところが、 $1-12$ はできないので子供はどう考えるかということ、 $12-1$ をするんですよ。同様に $35-50$ もできないので $50-35$ をします。答え「11時間15分」という誤答が生じます。

針時計で考えてみましょう。12時50分を指している針を1時35分まで動かしてみると、一回転しないのがわかります。そうすると1時間未満であることが予想されます。また、短針と長針が作る角度が鋭角なら短い時間であることがわかり、角度が広がるほど長い時間であることがわかりますね。このように、なんとなくイメージできるということが実は大切な気づきにつながり、算数的思考の基礎となるものなのです。 「なんとなくこれくらい」という数的感覚が大切なのが算数科の学習なのです。

そのために必要なのは生活に密着した豊富な経験です。

算数でいえば、特に長さ、重さ、面積、体積、割合等が該当するでしょう。生活の中の具体例として子供が遊んでいるときに「このコントローラーはどのくらいの長さがあると思う？」と問いかけるなど豊富な生活経験は主に家庭で、それを学習するのは主に学校でと連携を取りつつ子どもの学びにつなげていきたいと思えます。



4月の懇談会及び授業参観には多数の参加をいただきありがとうございました。お子さんの様子はいかがでしたか。保護者の方に自分のがんばっている姿を見てもらおうといつも以上に頑張っている子どもたちを微笑ましく感じました。

## 第1回PTA運営委員会でのひとこま



授業参観の日の午前中、PTA会議室でPTA運営委員会が開催されました。学校側からは校長と教頭が参加いたしました。

その中で、運動会終了後に子どもたちに喜んでもらえるために何をしようかと話し合ってくださいました。いくつかの提案に対して互いに賛成意見や反対意見を出し、できる限り子どもたちの喜びにつながるよう協議してくださっていました。

「シューズはどうだろうか」「昨年度は駄菓子を喜んでもらえた。」「みんなで休み時間に使える遊具はどうだろうか」等々、10時に始まった会議が終わったのは12時近くになっていました。学校としては、子どもたちの安全、特に食に関する安全性を十分考慮していただきたいことをお願いしたところです。

皆さんがそれぞれ子どもたちの喜びと安全を考えて協議してくださることに、本当にありがたいことと感謝いたします。

### 5月の主な行事予定

1日(月) 全校朝会	24日(水) 2・4・6年と1・3・5年の一部 眼科検診
2日(火) 1・4年心電図	25日(木) 2・4・6年と1・3・5年の一部 耳鼻科検診
10日(水) 5・6年委員会活動	26日(金) 5・6年運動会前日準備 1～4年4校時日課
17日(水) 1～6年内科検診	27日(土) ぽかぽか運動会
18日(木) 1～3年歯科検診	28日(日) 運動会予備日①
	29日(月) 振替休業
	30日(火) 6年こころの劇場(劇団四季ミュージカル観覧)
	31日(水) 運動会予備日② 5・6年委員会活動

### 市川ふるさとたんけん隊 誕生!

3年生から始まる教科「ふるさと探究科」。3年生はふるさとである市川を探検すべく学習がスタートしました。先日早速道の駅いちかわへ。「駅」なので駅弁販売や線路があると予想していた子どもたち。駅長さんに話を聞きながら見学したりお客様にインタビューしたりしながら人との交流をしてきました。ふるさと探究科の基本は「体験」「人」「課題設定」です。子どもの「？」が「！」になることを繰り返すことで学びの連続性が生まれることが究極の探究学習です。他学年の探究学習も楽しみですね。

### 6年生から5年生へ

6年生と5年生がグループごとに話し合いをしていました。昨年度1年間を通して展開した米作りのレクチャーを受けていました。「6年生に早くスタートしないともう遅いよって言われちゃいました」と5年生の子が話してくれました。早速田おこしをしようとしたものの雨で中止。農業の洗礼を受けた5年生を見て「これが生きた学びなのだ。思い通りにいかないからこそが学習なのだ」と。応援してるよ!がんばれ!